

ノースウイング

第21号

北区まちづくり実践レポート

CONTENTS

特集：札幌国際芸術祭2014 in 北区
学生とともに進めるまちづくり
北区に根付く地域文化
安全安心なまちづくりをめざして
連携・連帯でつくるまちづくり



特集 札幌国際芸術祭2014 in 北区

2015.3

(平成27年)

札幌市北区役所



表紙の写真

本誌のタイトル「ノースウイング」は、札幌の北のエリアを表すとともに、人とまちのより良い関係へ向けて翼を広げていこう、という意味を込めています。

表紙と背表紙の配色は、北区ゆかりの歌舞伎の定色幕の三色を表しています。

表紙には、特集テーマ「札幌国際芸術祭 2014 in 北区」に相応しく、平成 26 年 6 月に百合が原公園で開催された「百合が原音楽祭」の写真を使用しました。



裏表紙の写真

- ①春 屯田西公園サクラの広場
 - ②夏 安春川
 - ③秋 北海道大学大野池
 - ④冬 JRあいの里公園付近
-

ごあいさつ

平成26年、札幌市で初めて国際芸術祭が開催され、市内の美術館や公園などを舞台に「都市と自然」をテーマとしたさまざまな作品が発表されました。ここ北区でも、開催期間中には同芸術祭に関連したイベントが多数行われ、区民がアートに親しみ、創造性が高められるような取り組みを進めてきました。

また、去年は全国的にも豪雨や地震、水害などが多く発生し、地域防災力向上の必要性を改めて感じた1年でもありました。北区でも、「北区まちづくり協議会」において、「防災」をテーマとした講演会などが行われたほか、企業と連携した防災の取り組みを進めたり地域の自主防災組織の支援を行ったりすることで、安全安心なまちづくりを進めてきました。

この他にも、北区では区内に多く居住する大学生や、伝統文化の保存継承に携わる団体、区民の健康づくりを進める団体など、さまざまな団体がまちづくり活動に参加しています。ノースウイング第21号では、そうした活動の一例を紹介しています。

本誌を通じて、区民の皆様にもまちづくり活動への理解を深めていただくとともに、自分たちの地域で活動を始めるきっかけづくりに、お役立ていただければ幸いです。

最後になりますが、本誌の発行に当たりご協力いただいたすべての方に心からお礼を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成 27 年 3 月

札幌市北区長 あ べ こう じ 阿 部 宏 司





写真で振り返る 2014年北区のまちづくり 1

年表：北区のあゆみ 13

特集 札幌国際芸術祭 2014 in 北区

北☆ガク アートフェスティバル 15
 ～学生 × アートでまちづくり～
 北区市民部地域振興課

さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭 2014 17
 環境局みどりの推進部みどりの推進課

絆広がる百合が原公園 19
 北区市民部地域振興課

コラム① 札幌国際芸術祭 2014 in 北区 21

1. 学生とともに進めるまちづくり

“北大YOSAKOIチーム × 鉄西” が生み出すまちづくり活動 25
 鉄西まちづくり学生推進委員会 会長 佐々木 良太

地域に根を下ろして ～NeoLos 幌北の活動～ 27
 学生と地域で考えるまちづくり会 (NeoLos 幌北) 代表 布谷 睦

武蔵女子大生の新たな挑戦 29
 ～笑顔と楽しさをモットーに、緑あふれる明るいまちを目指して～
 北海道武蔵女子短期大学ライラック学生会執行部
 ボランティア委員会 委員長 宗石 雅美

北 24 条商店街と学生との連携によるまちづくり 31
 北区市民部総務企画課

麻生キッチン“りあん” 商学連携の取り組み 33
 地域コーディネーター・かどまーる 代表 喜多 洋子

コラム② 「コミュニティカフェ」って何? 35

2. 北区に根付く地域文化

あさぶ垂麻保存会 ～子どもたちに垂麻の歴史をつなぐ～ 37
 あさぶ垂麻保存会 会長 宮崎 正晴

さくらで結ぶ街、人、絆 39
 新川さくら並木連合町内会 会長 大西 建彦

篠路歌舞伎の歴史と現在 41
 篠路歌舞伎保存会 会長 大高 英男

新琴似歌舞伎伝承会の取り組み 43
 新琴似歌舞伎伝承会 事務局長 宮崎 義晴

コラム③ 北区歴史と文化の八十八選 46

コラム④ 北区の伝統文化 47

3. 安全安心なまちづくりを目指して

北区まちづくり協議会の取り組み	49
北区まちづくり協議会 座長 宇野 俊光	
いざという時の共助	51
～太平百合が原地区防災訓練～	
太平百合が原連合町内会 副会長 青柳 史匡	
とくとく教室の開催	53
～詐欺を防いで、健康寿命を伸ばそう～	
新琴似西連合町内会 会長 伊藤 長八郎	
企業と連携した防災啓発の取り組み	55
～安心して暮らせるぬくもりの街を目指して～	
北区市民部総務企画課	
コラム⑤ 北区で実施した防災の取り組み	57

4. 連携・連帯でつくるまちづくり

屯田地区Cネット会議における平成26年度の取り組み	59
屯田地区コミュニティネットワーク会議 議長 坂田 文正	
スローライフ・イン・に～よんの新しい風 “に～よん音楽祭”	61
スローライフ・イン・に～よん実行委員会 実行委員長 小泉 詔信	
「お宝再発見」事業で～地域の一体感を高め合おう～	63
～キタクなる新琴似『お宝再発見』事業の取り組み～	
新琴似地区コミュニティネットワーク会議 事務局長（新琴似連合町内会総務部長） 吉田 正	
北区健康づくり協議会発足10周年	65
北区健康をまもるつどい 会長 齋藤 芳子	
地域に根差して～北区食生活改善推進員協議会	67
北区食生活改善推進員協議会 会長 石井 泰子	
あさぶ商店街の取り組み	69
麻生商店街振興組合 事務局長 奈良 正彦	
屯田西公園の取り組み2014年度	71
みどりみらいプロジェクトグループ 屯田西公園管理事務所 所長 洞内 無人	
北区高齢者教室「北親大学」	73
北区市民部地域振興課	
我が母校	75
北海道札幌拓北高等学校	
コラム⑥ ウォームシェア事業	78
コラム⑦ 廃食油のリサイクル	79

1月 January

■新琴似シネマ倶楽部パートⅡ

- ・平成 26 年 1 月 21 日 (火) (他 2 回開催)
- ・会場 プラザ新琴似

プラザ新琴似運営委員会が、「ウォームシェア」の一環として映画上映会を開催しました。当日は、地域住民約50名が集まり、映画の感動的なシーンに涙を流したり、上映後に映画の感想を語り合ったりし、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。



■篠路中・有朋高が地域で除雪ボランティア

- ・平成 26 年 1 月 22 日 (水)
- ・会場 拓北・あいの里地区、屯田地区

札幌市立篠路中学校の生徒会が中心となって、地元のひまわり連合自治会防災会のメンバーや北消防署あいの里出張所職員とともに消火栓周りの除雪を行いました。

同日屯田地区でも、北海道有朋高等学校の「有朋高校パトロール隊」を中心とした生徒たちが、消火栓周りの除雪や屯田児童会館で子どもが遊べるそりコース作りを行いました。



■に~よんアイスクャンدلナイト

- ・平成 26 年 1 月 27(月) ~ 30 日 (木)
- ・会場 北 24 条周辺

スローライフ・イン・に~よん実行委員会が、札幌サンプラザ横の広場や北24条商店街を中心に約300個のアイスクャンدلを設置して雪に覆われた冬の道を彩りました。キャンدلは北区子ども会育成会連合会や北24条商店街振興組合、北連合町内会会員により制作され、27日の点灯式では約250人の地域住民・小学生らが集まり、一斉にキャンدلに灯をともしました。



■認知症サポーター養成講座

- ・平成 26 年 1 月 28 日 (火)
- ・会場 札幌市立北陽中学校

札幌市では、認知症になっても安心して暮らせるよう「認知症サポーター」を養成しています。同校では、道徳の授業の一環として、市内でも珍しい中学生を対象とした養成講座を行っており、講話や寸劇を通して、認知症への理解を深めました。この日は1年生223人が受講し、新たにサポーターとなりました。



2月 February

■中学校文化系部活動等スポーツ大会 in 北区

- ・平成 26 年 2 月 1 日 (土)
- ・会場 北区体育館

日頃運動の機会が少ない中学校文化系部活動などに所属している生徒に、運動する機会に触れ、その楽しさを知ってもらおうと札幌市教育委員会が初開催しました。区内の中学校6校から96人の生徒が参加し、円陣バレーやフロアカーリングなどを楽しみました。



■第26回北区スノーホッケー大会

- ・平成 26 年 2 月 2 日 (日)
- ・会場 麻生球場

「スノーホッケー」は札幌市で生まれた冬のスポーツで、冬季に手軽にできるスポーツとして親しまれています。同大会は北区スポーツ推進委員と北区役所が主催するもので、当日は区内の小学生5、6年生からなる全18チーム、計150人の選手が優勝を競い合う姿に、応援に駆けつけた父母から熱い声援が送られました。



■新光雪あかり村

- ・平成 26 年 2 月 14 日 (金)
- ・会場 札幌市立新光小学校グラウンド

新光小学校と同校 PTA、「心豊かな新光の子を育てる会」が主催した冬のイベントです。児童と地域住民が雪像や雪山を制作し、その周りをアイスキャンドルで囲んで作りあげた「雪あかり村」は、辺りが暗くなるのに合わせてキャンドルがともされ、幻想的な雰囲気に取りこまれました。



■きたっこ科学館

- ・平成 26 年 2 月 21 日 (金) ~ 22 日 (土)
- ・会場 北区民センター

北区役所と北区民センターの主催で、市内の科学館や博物館を区民センターに集め、地域子どもたちの科学への関心向上を図りました。21日は近辺の小学校を対象とした授業も行われ、訪れた子どもたちは初めて見る展示物や学芸員の解説に興味津々でした。また、22日には青少年科学館の移動プラネタリウムが登場し、星座や惑星などの幻想的な映像に目を輝かせていました。



3月 March

■冬の遊び in 麻生球場

- ・平成 26 年 3 月 1 日 (土)
- ・会場 麻生球場

麻生・新川地区の青少年育成委員会や児童会館が、冬ならではの遊びを思いきり楽しんでもらおうと、麻生球場と開催したイベントです。訪れた子どもたちは、イグルーづくりやチューブスライダー、スノーラフティングなどを楽しんだほか、同委員会手作りの豚汁で温まりながら交流を深めました。



■第24回 拓北・あいの里雪中運動会

- ・平成 26 年 3 月 2 日 (日)
- ・会場 札幌市立拓北小学校

冬季に子どもたちに屋外で遊んでもらおうと、「21世紀を考える会」が毎年主催しているイベントです。同校の児童や地域住民など約150名が参加し、篠路中サッカー部員などのボランティアの協力のもと、パン食い競争や雪玉を使った玉入れなどのユニークな競技が行われました。



■平成25年度 篠路地区「善行表彰」式

- ・平成 26 年 3 月 2 日 (日)
- ・会場 篠路コミュニティセンター

ボランティアなどに取り組む子どもたちを地域で見守り褒めることでさらに長所を伸ばしてもらおうと、篠路地区コミュニティネットワーク会議が主催しています。今回は、福祉施設でお年寄りと交流したグループや、冬季の転倒防止用の砂まきを行ったグループなどが表彰されました。



■「SKT24 ～知る・関わる・体験する！ 北24条商店街」を開催

- ・平成 26 年 3 月 22 日 (土)
- ・会場 北24条商店街

同商店街の魅力を地域住民に再発見してもらおうと、「商店街学生アイデアコンテスト」で準グランプリを獲得した、東海大学学生のアイデアを生かした事業が行われました。地域の小学生がペットショップや文房具屋などで職業体験をしたほか、保護者を対象とした交流会が行われ、より良い商店街にするための意見交換が行われました。



4月 April

■スプリング・リリーコンサート

- ・平成 26 年 4 月 6 日 (日)
- ・会場 太平百合が原地区センター

音楽を通して地域住民同士の交流を図り、春を感じてもらおうと太平百合が原地区センターが主催したコンサートです。約160人の観客が訪れ、吹奏楽やフルートなどの温かな音色を楽しみました。コンサート終了後には、ユリの花を景品とした抽選会とパンジーやビオラの花苗のプレゼントがあり、来場者は一足早い春の訪れを感じていました。



■春の北区防火フェスタ

- ・平成 26 年 4 月 20 日 (日)
- ・会場 札幌市立茨戸小学校

「春の火災予防運動」の一環として、北消防署が主催しました。同校グラウンドでは「はしご車搭乗体験」「放水体験」、体育館では「AEDを使用した心肺蘇生法体験」「通報体験」などの各種体験コーナーが設けられ、参加者は防火への意識を新たにしていました。



■札幌工業高校と幌北連合町内会が合同清掃

- ・平成 26 年 4 月 21 日 (月)
- ・会場 幌北地区

北海道札幌工業高等学校の生徒、幌北連合町内会、NeoLos 幌北のメンバーなど約180名が協力して、北18条通から宮の森北24条通までの範囲を、約1時間かけて合同で清掃しました。参加した生徒は、今後も活動を続けていきたいと抱負を語っていました。



■藍の種の無料配布

- ・平成 26 年 4 月 21 日 (月)
- ・会場 北区役所・北区民センター・篠路コミュニティセンター他

北区では明治の開拓初期に藍を栽培していた歴史を持ち、現在は篠路天然藍染振興会・篠路天然藍染協議会が藍染の普及活動を行っています。この無料配布では、両会の会員が、藍染の魅力や藍の栽培方法を丁寧に説明しながら、訪れた区民に種の入った袋を手渡しました。



5月 May

■北区高齢者教室「北親大学」開講式

- ・平成 26 年 5 月 1 日 (木)
- ・会場 北区民センター

「北親大学」は高齢者の生きがい作りを目的として開講しているもので、今回の受講生は第41期です。この日の開講式には、応募者の中から抽選で選ばれた65歳から84歳までの40名の受講生が出席し、9月の閉講式までのあいだ、一般教養や健康管理、文化など全19回の多様なカリキュラムの講習を受講しました。



■ NeoLos 幌北が「防災マップ」を幌北小学校へ寄贈

- ・平成 26 年 5 月 1 日 (木)
- ・会場 札幌市立幌北小学校

NeoLos 幌北が連合町内会と協力して作成した防災マップを幌北小学校に寄贈しました。構想から約1年をかけて完成させた地図には、避難所や非常持ち出し品リストなどの発災時に役立つ情報が盛り込まれています。



■第14回新川さくらフェスティバル音楽祭

- ・平成 26 年 5 月 10 日 (土)
- ・会場 札幌サンプラザコンサートホール

新川さくら並木連合町内会と新川地区緑化推進協議会が主催した音楽祭です。地域住民の手によって作られた新川沿いのさくら並木の完成を記念して始まり、今年で14回目を迎えます。会場では区内で活躍する合唱団や吹奏楽団による演奏が行われ、最後は「新川さくら並木のうた」を来場者全員で合唱しました。



■「アマとホップのフラワーロード」花植え

- ・平成 26 年 5 月 22 日 (木)
- ・会場 札幌エルプラザ周辺

北8条通りでは、かつて亜麻の繊維工場や官営のビール醸造所などがあったことにちなみ、地域ゆかりの植物で街路を彩る取り組みが行われています。この日は、札幌エルプラザ公共4施設や周辺施設の職員・地域住民などが、市民グループ「AMA サポーターズ倶楽部」のメンバーからアドバイスを受けながら、亜麻のほかペチュニアやインパチェンスを植える作業を行いました。



6月 June

■地域と行う区役所美化事業

- ・平成 26 年 6 月 4 日 (水)
- ・会場 北区役所周辺

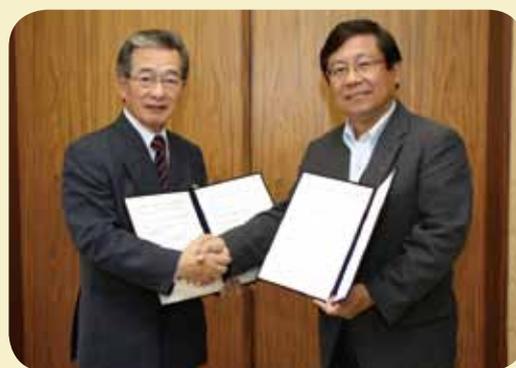
北区役所周辺の街路を白楊小学校の生徒とともに花で彩りました。この事業のきっかけは「明るい社会づくり運動札幌北区推進協議会」が取り組んでいた美化事業に、同校の児童が参加したいと呼びかけたことです。今では小学生、地域、企業、行政の総勢 200 名が一体となって取り組む活動になっています。実施にあたって、北区園芸造園組合から花苗約 100 株の寄付をいただいたことから、7月10日(木)には北区役所で感謝状の贈呈式が行われました。



■暁交通株式会社との連携事業協定

- ・平成 26 年 6 月 11 日 (水)
- ・会場 北区役所

北区と暁交通株式会社との間で「災害時の輸送など安全で安心して暮らせるまちづくりを進める連携協定」が締結されました。この協定では、大規模災害発生時に同社が人や物資の輸送、被害情報の収集を行うことなどが定められました。



■麻生地区で亜麻の種植え

- ・平成 26 年 6 月 12 日 (木)
- ・会場 麻生地区

町名の由来となった亜麻を育てることで地域への愛着を高めてもらおうと、あさぶ亜麻保存会と麻生商店街振興組合が主催しました。参加者は麻生駅周辺にプランターを設置し、一つ一つ丁寧に亜麻の種を植えていきました。



■いしかり浜サンドパーク 2014 に 砂像アート出展

- ・平成 26 年 6 月 21 日 (土)～7月6日(日)
- ・会場 石狩浜海水浴場 あそびーち

北区・石狩市連携プロジェクトの一環として、例年石狩市で行われている「いしかり浜サンドパーク」に「北区こどもホームページ きたーくのなぞ」の公式キャラクターの砂像が登場しました。北区長の石狩市役所訪問も行われ、これからも隣接する北区と石狩市とが連携を深めていくことで合意しました。



7月 July

■篠路天然藍染振興会 藍染作品展

- ・平成 26 年 7 月 3 日 (木) ~ 8 日 (火)
- ・会場 道新ギャラリー

2014年に設立20周年を迎えた篠路天然藍染振興会が記念展示会を開催しました。同振興会は「藍染文化伝承事業」として、伝統の灰汁発酵建てにこだわった製作活動を行うほか、区民向けの講座や体験会を開催するなど、北区にゆかりのある藍染を多くの人に知ってもらうべく活動を続けています。



■北区こそだてフェスティバル in ガトーキングダム

- ・平成 26 年 7 月 13 日 (日)
- ・会場 シャトレーゼガトーキングダムサッポロ & スパリゾート

児童会館を知ってもらい子育ての輪を広げることが目的として、区内の児童会館が合同で企画したイベントです。この日は地域の親子連れなど約2,200人が参加し、遊びを通して交流を深めました。また、児童会館での活動を披露するステージも行われ、子どもたちは元気いっぱいダンスや演劇などを行いました。



■あさぶ三世代げんき広場

- ・平成 26 年 7 月 13 日 (日)
- ・会場 麻生球場

麻生まちづくり協議会が地域の各種団体と協力し、幼児・保護者・高齢者の三世代が交流できるイベントを開催しました。この日は地域の家族連れなど約1,800人が訪れ、ゲートボールやストラックアウト、輪投げなどの様々な遊びに参加して交流を深めました。

会場には麻生商店街振興組合のキャラクター「あさぶー」も登場し、来場者が一緒に記念写真を撮る姿も見られました。



■ノースロード24 フェスタ 2014

- ・平成 26 年 7 月 24 日 (木) ~ 25 日 (金)
- ・会場 札幌サンプラザ

北24条周辺の商店街、料飲店協会、町内会などが協力して開催している夏まつりです。ビアガーデン、カラオケ大会、子どもみこしや食育展など盛りだくさんの企画に会場は大盛況でした。

同時に「さっぽろ食の安全・安心推進協定」締結式も行われ、副市長から締結事業者に協定書が手交されました。



8月 August

■ Go!Go! きたっこ音楽会 in 夏まつり

- ・平成 26 年 8 月 6 日 (水) (他 3 回開催)
- ・会場 札幌市下水道科学館

北区役所が学生や地域のボランティアと共同で多世代交流を目的としたイベントを実施しました。訪れた親子連れは、学生による読み聞かせやゲームコーナー、ジャグリング・バルーンショーなどを楽しんだあと、札幌市手洗い啓発ソングである「しろくま忍者の手洗いソング」を全員で踊り、イベントを締めくくりました。



■ 2014 安春川子どもサマーフェスティバル

- ・平成 26 年 8 月 8 日 (金)
- ・会場 安春川周辺

地域に親しまれている安春川で思いきり水遊びを楽しんでもらおうと開催されたイベントです。川を網で囲った特設会場では、金魚すくいやドジョウのつかみ捕り、スーパーボールすくいなどが行われ、地域の親子連れが元気いっぱい水遊びを楽しみました。



■ 留学生とふれあいトーク

- ・平成 26 年 8 月 21 日 (木)
- ・会場 札幌市立白楊小学校

市内に多く在住する留学生と地域住民が交流することにより、もっとお互いを知ってもらおうと北区民センターが主催しました。中国・韓国・タイが出身の留学生は、特技の handmade を披露したり、地元の文化・風習などを紹介したりする一方、地域住民は札幌の魅力を紹介するなどしてお互いに交流を深めました。



■ 第 1 回北区まちづくり協議会全体会

- ・平成 26 年 8 月 26 日 (火)
- ・会場 札幌サンプラザ

北区まちづくり協議会は、区内でまちづくり活動に取り組む 48 団体が一堂に会し、区のまちづくりについて話し合う場です。

今年度は「防災」をテーマとして開催され、新潟県から講師を招き「災害に強い地域づくり (中越大震災から学ぶ)」と題した講演を実施しました。出席者は熱心に耳を傾け、講演の後には質問も出て、講師が丁寧に答えていました。



9月 September

■北区防災訓練

- ・平成 26 年 9 月 1 日 (月)
- ・会場 札幌市立新川中央小学校

北区では、災害発生時に地域や区、消防などが互いに連携して迅速な対応が出来るよう防災訓練を行っています。この日は同校の児童や地域住民約600名が参加し、震度6強の地震が発生したという想定のもと避難訓練や応急手当訓練が行われました。



■新琴似歌舞伎公開講座

- ・平成 26 年 9 月 4 日 (木)
- ・会場 プラザ新琴似

地域の開拓の歴史を後世に伝えていこうと、新琴似歌舞伎伝承会が新琴似中学校の生徒を対象に公開講座を行っています。この日は「白浪五人男」の演者5人と裏方5人の総勢10人が中学生によって演じられ、生徒が一人ずつ口上を述べるシーンでは会場から大きな拍手が送られました。



■第42回北区少年少女スポーツ大会

- ・平成 26 年 9 月 28 日 (日)
- ・会場 北区体育館

スポーツを通じた少年少女の相互交流と健全育成を目的として昭和47年から開催されている事業です。この日は区内の小学生3~6年生約300人が参加し、ドッジボールやミニバスケットボールの試合で日ごろの成果を競い合いました。試合終了後には選手の健闘をたたえて温かい拍手と歓声が送られました。



■北区アダプト・プログラム事業参加調印式

- ・平成 26 年 9 月 29 日 (月)
- ・会場 北区役所

北区では行政と地域の協働による地域美化制度「アダプト・プログラム」を導入しています。この日、道路建設株式会社と北区が活動に関する覚書の調印式を行い、同社周辺の北7条~北8条付近での清掃活動や冬季に転倒防止の砂まきなどを行うことが取り決められました。



10月 October

■ふらっとホーム 2014 in 北区

- ・平成 26 年 10 月 6 日 (月)
- ・会場 札幌サンプラザ

ふらっとホームは区民と市長が気軽に意見交換することを目的として各区で開催しているもので、この日は対話者 6 名が市長らと市政やまちづくりについて語り合いました。「町内会や地域での活動に関すること」「防災対策に関すること」「冬季五輪札幌招致について」をテーマとして活発な意見交換が行われました。



■篠路文化祭で篠路子ども歌舞伎披露

- ・平成 26 年 10 月 11 日 (土)
- ・会場 篠路コミュニティセンター

地域で活動しているサークルなどが日頃の活動の成果を発表する場である「篠路文化祭」で、篠路中央保育園の園児が子ども歌舞伎を披露しました。これは、農村歌舞伎の歴史を引き継ごうと篠路歌舞伎保存会が行っているもので、いまでは文化祭の目玉の一つとなっています。



■百合が原紅葉祭り

- ・平成 26 年 10 月 18 日 (土)
- ・会場 百合が原公園

北区の魅力を再発見してもらおうと、北区と市公園緑化協会が開催しました。当日は、新鮮な北区産野菜の販売や食育展、野菜ソムリエ・吉川雅子氏の講演が行われました。また、北区の伝統文化を PR するパネル展や風景写真の展示、ミニコンサートも行われ、来場者は思い思いに秋の一日を楽しみました。



■北区食生活改善推進員協議会 設立40周年記念講演会

- ・平成 26 年 10 月 20 日 (月)
- ・会場 札幌サンプラザ

食生活の改善を通して健康づくりの輪を広げていこうと活動している北区食生活改善推進員協議会が、より多くの区民に食の知識やバランスの良い食生活を知ってもらおうと開催しました。講演では、学校給食の取り組みや子どもの味覚を大切にするためのポイントなどが紹介され、来場者は熱心に耳を傾けました。会場では、同協議会の活動を紹介するパネルなども展示されました。



11月 November

■に～よんインターナショナルカフェ

- ・平成 26 年 11 月 1 日 (土)
- ・会場 札幌サンプラザ

北24条地区を外国人にとっても買い物しやすい街にしようと、今年初めて開催されました。会場では外国人が自国の食事や文化を紹介するブースやステージが設けられたほか、コンサートやゲームなどのイベントを通して、商店街関係者や地域住民が外国人住民と交流しました。



■新琴似西地区安全安心合同パトロール

- ・平成 26 年 11 月 8 日 (土)
- ・会場 新琴似西地区

歳末を控えた11月に、地域住民が安全・安心に暮らせるよう、地域で防犯活動に携わる団体が一堂に会して合同パトロールを実施しました。参加者は、地区内を巡回しながら大きな声で火災予防や振り込み詐欺防止を呼び掛けました。



■百合が原児童会館「会館20周年記念式典」開催

- ・平成 26 年 11 月 8 日 (土)
- ・会場 百合が原児童会館

百合が原児童会館で開館20周年を記念するイベントが開催されました。この日は普段開館を利用している児童や地域住民など約200名が来館し、20年を振り返るスライド上映や児童によるけん玉・合唱の発表、保護者の風船ショーなどが行われました。式典のあとは児童や地域住民がスタッフとなり、ゲームコーナーなどを作って来館者に楽しんでもらいました。



■第15回屯田地区ふれあい交流もちつき大会

- ・平成 26 年 11 月 23 日 (日)
- ・会場 屯田地区センター

屯田地区コミュニティネットワーク会議が、「もちつき」を通して日本の食文化への理解を深めるとともに地域の親睦を深めようと開催しました。この日は子どもや地域住民ら約800人が参加し、大人たちに手伝ってもらいながら杵を振りおろしました。全員に振る舞われたつきたてのおもちに、参加者は笑顔で舌鼓を打ちました。



12月 December

■合同安全祈願出陣式及び除雪機械体験試乗会

- ・平成 26 年 12 月 5 日 (金)
- ・会場 北区西地区除雪センターモータープール

北区西地区で除雪業務を行う企業と屯田防犯パトロール隊(通称:とんぼ隊)が、協働で地域の防犯パトロールや子どもの見守り活動を行うことで、安全・安心なまちづくりに対する意識の向上を図ろうと毎年開催しています。出陣式後は地域の保育園児を対象とした除雪機械体験試乗会も行われ、訪れた園児は重機の大きさを体感していました。



■北区健康づくり協議会10周年記念講演会

- ・平成 26 年 12 月 13 日 (土)
- ・会場 札幌サンプラザ

区民の健康づくりを推進している「北区健康づくり協議会」が、発足10周年を記念して講演会を開催しました。この日は協議会会員が日頃の活動内容を紹介したあと、(株)北海道フットボールクラブ代表取締役の野々村芳和氏が「コンサドーレから学ぶ健康づくり」と題して、健康面で選手が心がけていることなどを紹介し、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。



■外国人のための救命講習会

- ・平成 26 年 12 月 17 日 (水)
- ・会場 北海道大学国際本部

北大周辺に多く居住する日本語が不得意な外国人にも、応急手当の大切さを知ってもらおうと、北消防署幌北出張所が主催しました。講習では英訳付きの応急処置方法を紹介する映像が上映されたほか、日本語で呼びかけるなどの実技訓練が行われました。



■北区 見守り ドレミのつどい

- ・平成 26 年 12 月 26 日 (金)
- ・会場 札幌サンプラザコンサートホール

発足から20周年を迎えた主任児童委員制度を多くの人に知ってもらい、子どもへの見守り活動の重要性を知ってもらおうと、北区民生委員児童委員協議会が開催しました。小中学生の合唱や吹奏楽に加え、北警察署の防犯講話や北区社会福祉協議会職員の寸劇が行われ、来場者は楽しみながら制度への理解を深めました。



年表・北区のあゆみ

- 安政 5年 (1858) 幕吏荒井金助が荒井村を創設
- 安政 6年 (1859) 早山清太郎が篠路に入植(篠路村の開基)
- 明治 2年 (1869) 開拓使が置かれ、島義勇判官が札幌建設に着手
- 明治 4年 (1871) 札幌最初の公園「偕楽園」を開設
- 明治13年 (1880) 偕楽園内に貴賓の接待所として「清華亭」を建築
- 明治15年 (1882) 徳島県人滝本五郎らが「興産社」を組織して篠路に入植し、藍を栽培
- 明治19年 (1886) 新川運河(札幌一オタルナイ間)開削
- 明治20年 (1887) 九州の士族を中心に屯田兵146戸が新琴似に入植
- 明治22年 (1889) 熊本ほか6県から士族220戸の屯田兵が発寒川付近に入植(現・屯田地区)
- 明治23年 (1890) 帝国製麻株式会社が麻生地域に垂麻製線工場を建設
- 明治30年 (1897) このころ、新琴似歌舞伎始まる
- 明治32年 (1899) 篠路獅子舞が演じられていた
- 明治35年 (1902) 篠路村烈々布部落で篠路歌舞伎始まる
- 明治36年 (1903) 札幌農学校が北8西5の新校舎に移転
- 昭和 2年 (1927) 市電鉄北線(北6条～北18条)が開通
- 昭和 9年 (1934) 札沼線(桑園～当別)が開通
- 昭和30年 (1955) 琴似町・篠路村が札幌市と合併
- 昭和38年 (1963) 市電鉄北線を延長(北27条～麻生町)
- 昭和39年 (1964) 市電鉄北線を新琴似駅まで延長
- 昭和46年 (1971) 地下鉄南北線(真駒内～北24条)が開通
市電鉄北線(北5条～北24条)が廃止
- 昭和47年 (1972) 政令指定都市移行に伴い、北区役所開設
- 昭和49年 (1974) 市電鉄北線北24条以北が廃止
- 昭和53年 (1978) 地下鉄南北線を麻生まで延長
- 昭和55年 (1980) ニュータウン「あいの里」着工
- 昭和59年 (1984) 北区民センターで藍染が復活
- 昭和60年 (1985) 篠路コミュニティセンター開館、篠路歌舞伎が復活
- 昭和61年 (1986) 「'86さっぽろ花と緑の博覧会」が百合が原公園で開催される
札沼線に新川・太平・百合が原・あいの里教育大駅開設
- 昭和63年 (1988) JR札幌駅鉄道高架開通
- 平成元年 (1989) 西5丁目通の高架下部分平面化開通
- 平成 2年 (1990) 「北区歴史と文化の八十八選」選定
- 平成 4年 (1992) 札樽自動車道(札幌西IC～札幌JCT)開通
- 平成 8年 (1996) 新琴似歌舞伎復活公演開催
- 平成12年 (2000) 札沼線の高架・複線化(八軒～創成川通)完成
- 平成13年 (2001) 環状通エルムトンネルが開通
- 平成14年 (2002) 篠路アンダーパスが開通
- 平成15年 (2003) 北8条西3丁目に札幌エルプラザ公共4施設が完成
- 平成21年 (2009) 当別町との連携事業「亜麻のフラワーロード」事業開始
- 平成22年 (2010) 麻生まちづくりセンター自主運営化
北区まちづくり協議会設立
- 平成23年 (2011) 篠路歌舞伎・新琴似歌舞伎復活周年記念公演「座・歌舞伎 伝統芸能フェスタ」開催
- 平成24年 (2012) 札沼線(札幌～北海道医療大学間)が電化
- 平成26年 (2014) 新川連合町内会が名称を「新川さくら並木連合町内会」に変更



清華亭



滝本 五郎



新琴似歌舞伎
(田中松次郎)



篠路獅子舞



あいの里開発記念之碑



'86さっぽろ花と緑の
博覧会モニュメント



北区まちづくり
協議会設立総会



新琴似駅前に
咲き誇る亜麻